

## 令和4年度の取組予定について

### 1 「エコモビリティライフ」(「エコモビ」)に関する普及啓発

#### (1) 市町村等と連携した実践促進事業

- ・県内各地域で市町村や鉄道事業者が実施するイベントにおいて、市町村や交通事業者などの協議会構成員と連携・協力して、地域住民等に対して主体的な「エコモビ」の実践を促す取組を実施(3回程度)。

#### (2) 「あいちエコモビリティライフの日」(エコモビの日)におけるPR及び実践

- ・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて十分な感染防止対策を講じた上で、ショッピングセンター等での啓発活動を実施(3回程度)。
- ・庁内放送やメール・イントラネット等により「エコモビの日」を周知。

#### (3) PR資材、広報媒体及び電子媒体を活用した普及啓発

- ・PR資材(チラシ・啓発グッズ)の活用。
- ・「エコモビ」ウェブサイト【知って得するエコモビ実践ガイド】、「エコモビ」紹介動画(ウェブ配信)の活用。
- ・広報誌や会報誌、放送やメールなどによるPR・働きかけ。

#### (4) キャンペーン・各種イベント・各種取組などによる普及啓発

- ・交通・環境イベントや研修会、各種会議などを活用して「エコモビ」をPR。
- ・リニモ関連イベント(わくわく体験リニモツアーズ、リニモ沿線ウォーキング等)などに合わせて「エコモビ」をPR。
- ・小中学校における、バスの乗り方等を学べるバス乗り方教室の実施。

### 2 エコ通勤・エコ通学への転換促進

#### (1) 「エコモビ実践セミナー」の開催

- ・あいちエコモビリティライフ推進協議会構成員及びエコ通勤等に関心のある県内企業・団体等に対し、事業所におけるエコ通勤をはじめとした「エコモビ」の取組、実践例(協議会構成員の好事例を含む)を知ってもらうとともに、構成員間での情報共有を図ることを目的として実施。(「エコモビ実践キャンペーン2022」への参加促進も含む。)

#### (2) 「エコモビ実践キャンペーン2022」の実施

- ・県内の企業、各種団体、行政等で「エコモビ」の趣旨に賛同する団体が、一定期間に「エコ通勤」を中心とした「エコモビ」に自主的かつ積極的に取り組む「エコモビ実践キャンペーン」を11月から12月頃に実施する。

### **(3) エコ通勤・エコ通学の働きかけ**

- リニモ沿線地域におけるエコ通勤・エコ通学への転換促進
  - ・リニモ沿線住民や沿線大学の学生を対象に、リニモの利用を促す啓発資料を配布し、公共交通を利用した通勤・通学への転換を促進。
- 職員、社員のエコ通勤への転換促進
  - ・エコ通勤実践者に対する報奨制度、エコ通勤に関する補助制度の設定、自転車通勤者への通勤手当支給などによるエコ通勤への転換促進。

## **3 パーク&ライドの普及拡大**

### **(1) 「パーク&ライド利用促進モデル事業」の実施**

- ・名古屋東部丘陵地域等を中心とした地域においてモデル地区を設定し、住民にパーク&ライド実践の動機付けを行うとともに、MaaSとパーク&ライドの連携方策を検討

### **(2) 桃花台線旧車両基地用地におけるパーク&ライド駐車場の運営**

- ・本県及び小牧市が桃花台新交通株式会社から取得した旧車両基地用地の一部において、パーク&ライド駐車場（41台分）を設置して運営。

### **(3) 市町村、交通事業者、小売事業者等によるパーク&ライドの普及推進**

- ・駅やバス停付近に駐車場や駐輪場を整備
- ・コミュニティバスの利便性向上のため、バス停のある公共施設の駐輪場をサイクル&バスライド駐輪場として運用。
- ・大型店舗の既存駐車場を活用した店舗利用型パーク&ライド駐車場を運営。
- ・交通系ICカードを用いて対象の鉄道を利用した人に駐車料金を優遇する駐車場を運営。
- ・市広報やHPにパーク&ライド情報を掲載、各駅にてPR

## **4 公共交通利用の動機付け**

### **(1) 公共交通機関に関する情報のオープンデータ化の推進**

- ・GTF S-J Pデータ作成、グーグルマップへのデータ提供支援。

### **(2) 公共交通の利便性向上に向けた取組の推進**

- ・公共交通マップの配布やコミュニティバスの運行等による公共交通の利便性の向上。
- ・公共交通の乗換案内（経路・時刻・料金等）、運行情報案内サービスの提供。
- ・交通系ICカードのほか、各種QRコード決済の導入など、キャッシュレスによる決済手段の充実。
- ・屋根やいすを新設するなど、バス停の待合スペースの改善

### **(3) 公共交通利用者への優遇措置の導入・働きかけ**

- ・「エコモビ」ウェブサイト【知って得するエコモビ実践ガイド(エコモビお得情報)】に公共交通利用者への様々なサービスを掲載。
- ・高齢者の運転免許証の自主返納及び公共交通機関利用を促進するため、運転経歴証明書を保有する市民や自主返納を行った市民に対して、バスやタクシーの無料乗車券、回数乗車券等を交付。
- ・公共交通利用者に対し、観光施設や飲食店等での割引や特典を付与。
- ・コミュニティバス無料乗車券を配布(対象者・期間限定)。

## **5 その他**

### **(1) 自転車、徒歩などによる移動の推進**

- ・シェアサイクル、レンタサイクル事業の実施、利用促進。
- ・自転車道の整備、自転車マップの作成・配布。
- ・電動アシスト自転車の貸与、購入費の一部補助。

### **(2) 環境にやさしい自動車利用の推進**

- ・EV・PHV、FCVの普及推進。
- ・社員駐車場などへのEV充電スタンドの設置。
- ・エコドライブ・アイドリングストップの推進。
- ・カーシェアリングの利用促進。

### **(3) ITS(高度道路交通システム)の推進**

- ・ITSの推進を通じ、公共交通の利用促進、移動の利便性・快適性の向上を推進。
- ・パソコンやスマートフォンで閲覧可能なバスの運行状況案内システム(バスロケーションシステム)の運用。

### **(4) MaaSの普及促進**

- ・地域公共交通などの移動手段と多様なサービスを組み合わせたMaaSの導入に向け、名古屋東部丘陵地域を中心とした地域を対象に実証実験を実施。
- ・県内各地でのMaaSの展開。

### **(5) 協議会への加入促進**

- ・県の各局に対し、総合評価競争入札及び企画競争において「エコモビの推進」を評価項目に設定するよう働きかけ。